

JW 解約 ① 不思議なシンボル

注意:この資料を決して他人に回したり押し付けたり、議論のネタにしないでください。 あたなたのために用意された資料です。

この資料に聖書的に背教的な内容は含まれていません。
協会からの出版物のみを使用しています。



PDFの使い方:

- Ctrl + L で全画面表示。
- ↓↑キーでページを移動。
- Esc で終了。

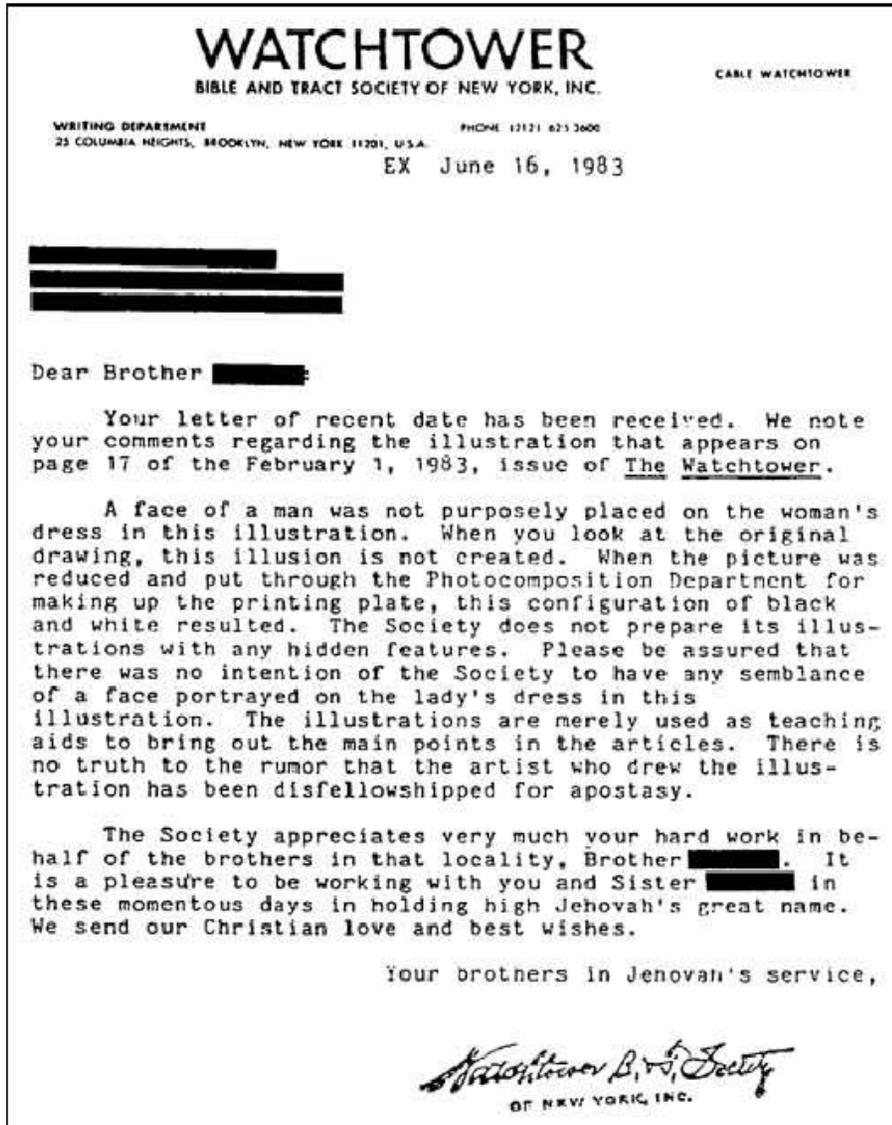
『エホバの食卓と悪霊の食卓に同時に あずかることはできないのです。』

コリント第一 10:21



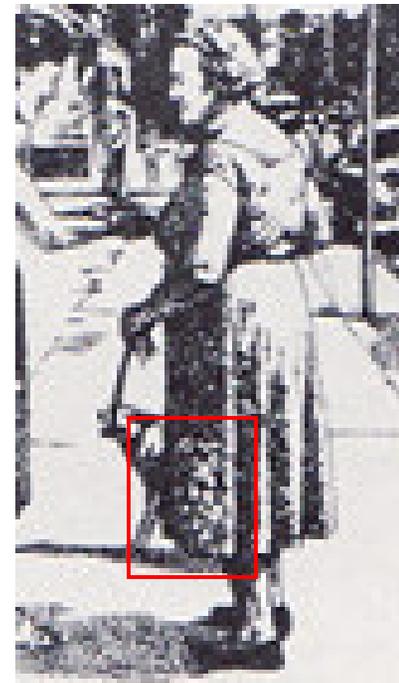
- 挿絵に見られる不思議なシンボル。
- 挿絵の中に見られるアルファベットの意味。
- 研究用の本に出てくる具体的な描写。
- 抑圧的な霊の力。

全てはここからはじまります...



ある日、一人の兄弟が出版物の挿絵の中に偶然不思議なイメージを見ます。色々と調べていくうちにもっと沢山不思議なシンボルなどを見つけます。そこで協会に注意を促すために手紙を書きます。協会からは、印刷工程(縮小・印刷プレート)で生じた偶然の現象だという回答がきます。そこで彼は他の資料をさらに協会に送り問い合わせます。この興味深い話の結末は資料の最後に出てきます。

あなたもこれらが「偶然の産物」「気のせい」なのか自分の目で確認してください。全て組織の出版物からです。



オカルト的な隠し絵。



第2版から差し替えられた挿絵。
男性だけでなくヤギの置物が追加されている。永遠に生きる P244



①上あごの欠けた骸骨の横顔と
②内側にはさらに小さな横顔が。
永遠に生きる P93



手の平にある顔



グロテスクな顔の口の中に
神の名の短縮形JAHがある。
掲載号不明



手の中にある顔
啓示の書 P158



煙の中にヤギ
塔6/1/96 P16

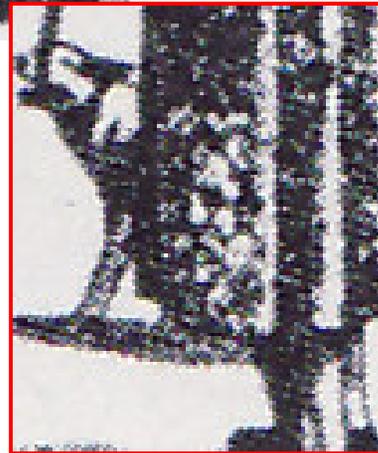
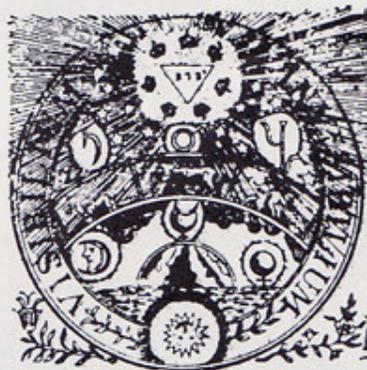
スカートの隠し絵



このどろぼうは、どろぼうに
生まれついたわけではありません。同様に、
悪魔は“悪魔”として創造されたものではありません

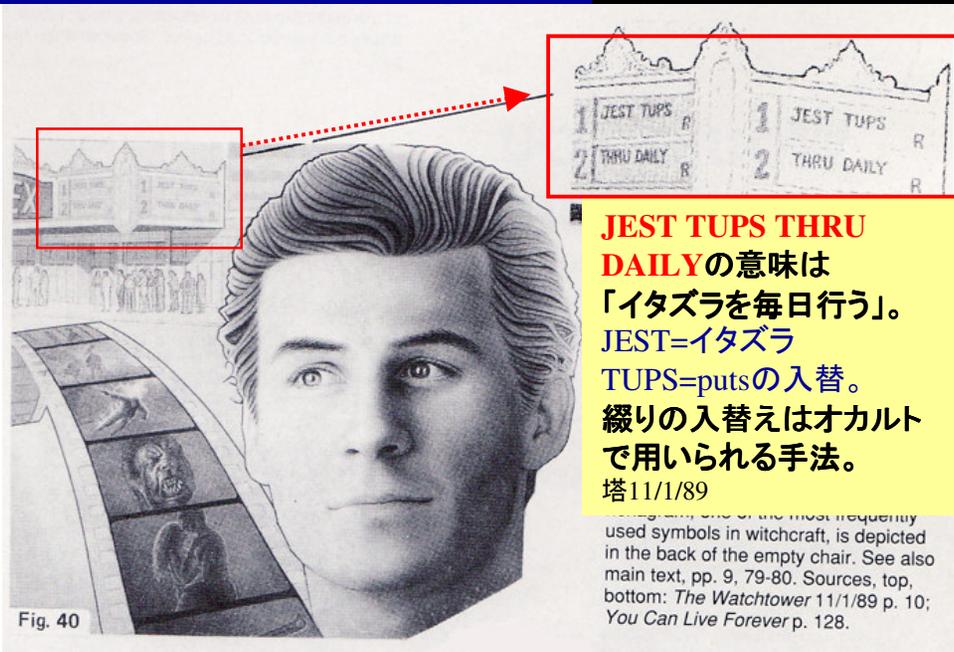


普通のペンダントにあるのか？
三角の中に月がある。フリーメー
ソンも魔術も用いるシンボル。
左向きの三日月はサタン
の明星を表す。永遠の本 P19



スカートの影に見えるゼウスの顔。
塔2/1/83 P17 (日本語は5/1?)

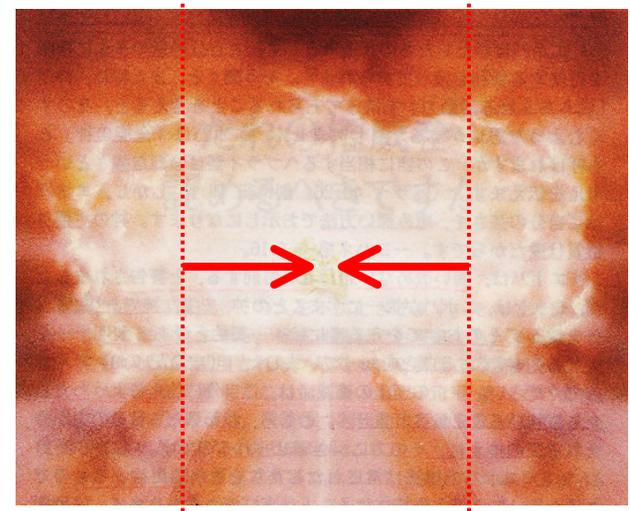
イタズラが大好き



JEST TUPS THRU DAILYの意味は「イタズラを毎日行う」。
JEST=イタズラ
TUPS=putsの入替。
 綴りの入替えはオカルトで用いられる手法。
 塔11/1/89

...ing any one of the most frequently used symbols in witchcraft, is depicted in the back of the empty chair. See also main text, pp. 9, 79-80. Sources, top, bottom: *The Watchtower* 11/1/89 p. 10; *You Can Live Forever* p. 128.

Fig. 40



JEST=イタズラがヘッドバンドに逆さに。ブローシュア「エホバの証人と教育」P21



エホバの座を折るとピラミッドの上に骸骨が出現。 知識P132

隠されているシンボル



絵の中に見られる「S」シンボル。
通常Sに角が生えている。
シンボルの意味に関しては後ページ参照。

ヒビにS 塔4/15/89

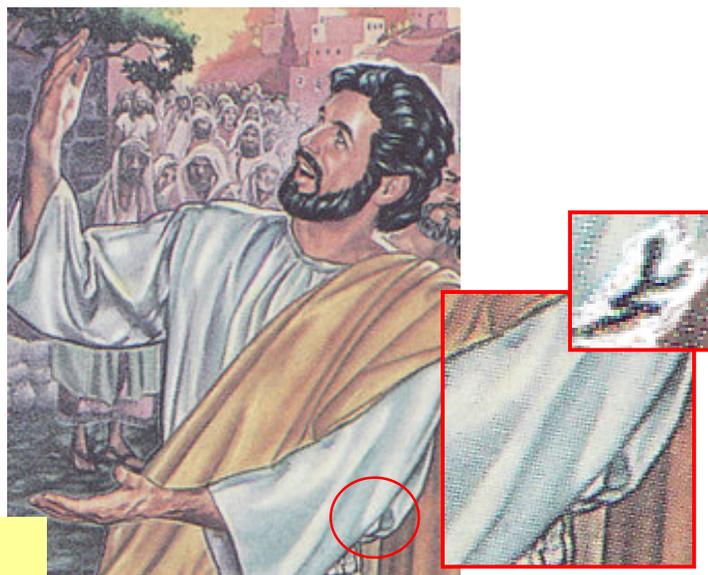


Fig. 33

ひじの影に見える「S」。塔2/1/83 →



偉大な人 89章



洞察II 裏表紙



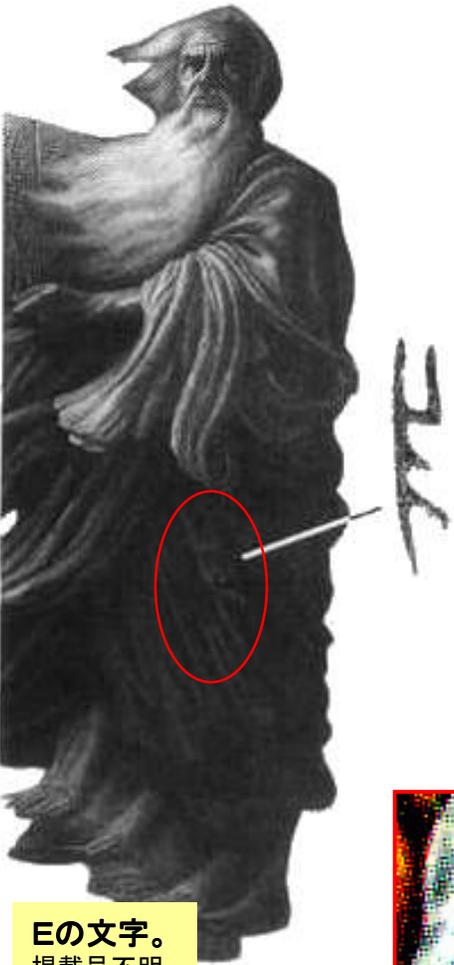
隠されている「S」



絵の中に見られる「E」シンボル。
通常Eに尾が生えている。
シンボルの意味に関しては後ページ参照。



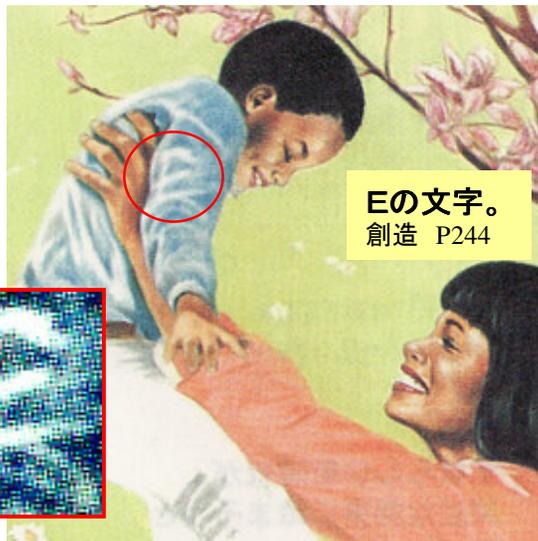
手の甲にS
塔11/1/2000 P17



Eの文字。
掲載号不明



Eの文字。
掲載号不明



Eの文字。
創造 P244



布にS 聖書の教え P44

隠されている「E」



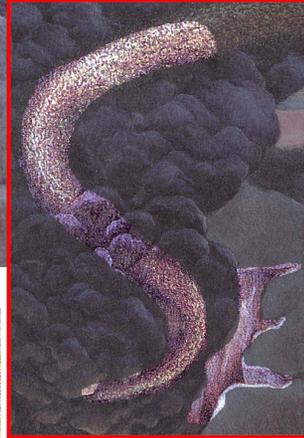
「E」「E」とセットで現れることも。
ただの偶然で二つの文字が
複数の挿絵の中に並ぶのだろうか。



EとSの字。
教え手P188



EとSの字。
啓示の書P144



Sの字。
偉大な人68章



Sの字。
永遠の本P50

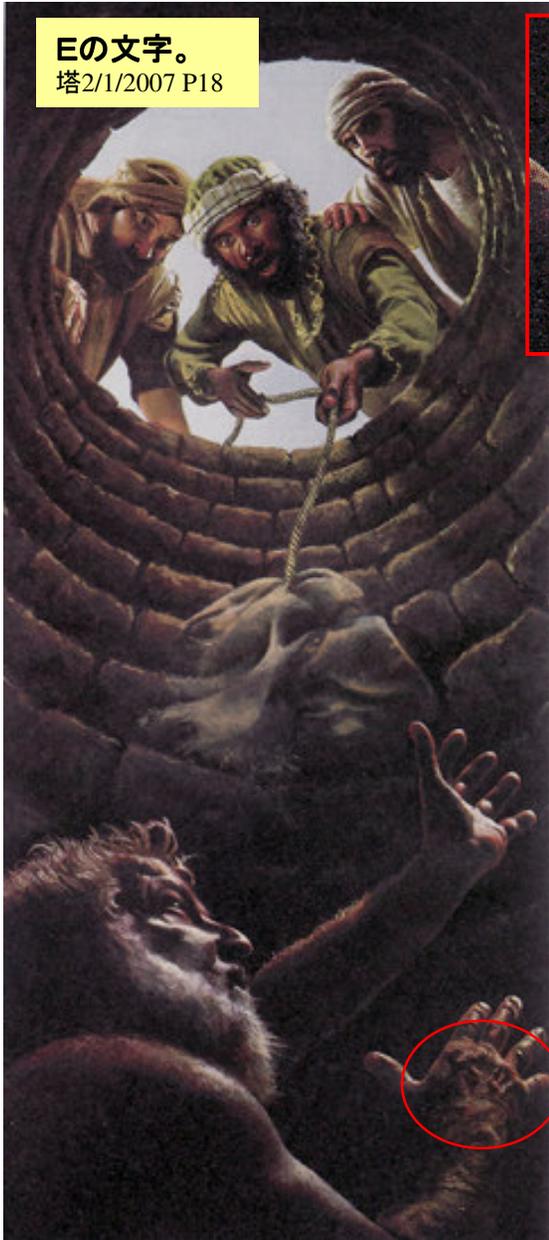


EとSの字。
永遠の本P66

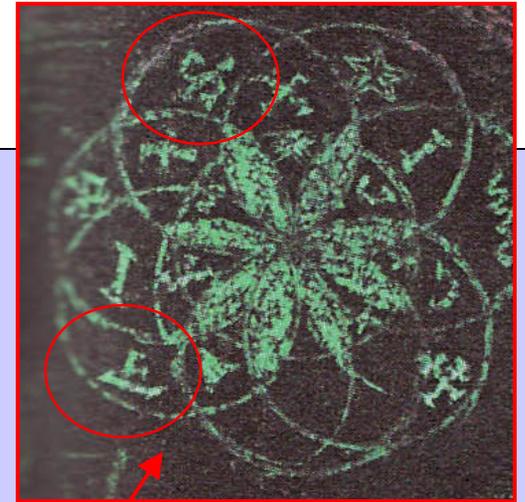


SとEの意味

Eの文字。
塔2/1/2007 P18



「S」と「E」の
答えは永遠の本に...



オカルトにおいてよく使われるシンボルに
角の生えた「S」(Satanの頭文字)と「E」
(Evilの頭文字)がある。永遠の本の魔術の
チャートにも「E」と「S」が表示されている。



服の模様による偶然かもしれないが
「S」という曲線は偶然だけでは発生
しにくい。又、「E」と「S」が偶然で
同じ絵の中に揃うのだろうか？
また絵柄が全く違うことから一人の
背教した絵描きによって埋め込まれて
いるわけではないことが推測できる。
エホバの霊とは違う霊の影響が
出版物に入り込んでいることを
どのように説明するのか。
また出版物には悪霊崇拜グッズが
必要以上に詳細に描かれている。



逆さまの「A」

逆さA 目2/22/89



掲載号不明

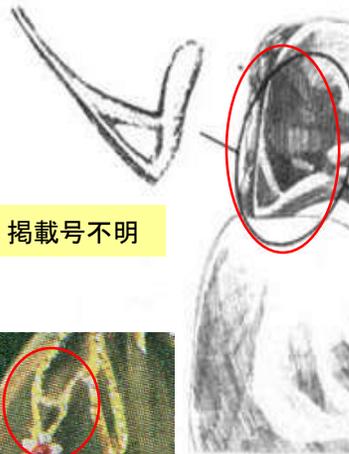


Fig. 19

永遠P19



逆さA 偉大な人 89章



逆さA
掲載号不明



オカルトシンボルに関連した**逆さ「A」**
(Anti-Christの頭文字)が見える。
逆さの時に見える2本の角はヤギを
表している。真ん中に線が入ると
悪魔の3本フォークを表す。

服のシワに現れる「A」は「偶然そう見えるだけ」
の現象では説明できない。通常は絵を描いて
いる人が意識しないと描けない形である。



Fig. 20

掲載号不明

手の形に注目。
親指と小指がつきでたポーズ。

偉大な人 61章



偉大な人 95章



偉大な人 93章



啓示の書 P158



永遠の本 P19

つきでた2本の指は
サタンの角を表す。

右はオカルト番組のもの。
自然にポーズをとった
だけではこのような姿勢
にならない。(自分で
試してみてください)

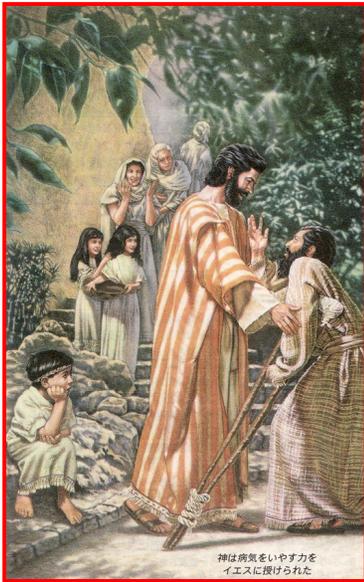


不気味な鏡絵

知識 P35

イエスの頭上の木葉っぱの面積が大きく一人だけ後ろを向いている構図。不思議なデッサンの絵だと思い、鏡絵にして少しづつズラすと、次々と出てくるグロテスクな模様。

この人が見ているものは？



神は病気をいやす力を
イエスに授けられた



オカルトが大好き



永遠 P97

聖書は、「あらゆる形の心霊術とかかわりを持たないように」と警告しています

出版物はなぜ魔術の絵を**必要以上に詳細に描写**するのか？
ポルノはいけませんといって如何わしい写真を掲載する必要がないのと同じように、エホバが憎む魔術のエネルギーの出ているものを描く必要はない。サタンを禁じるのにサタンを描く必要はないのではないだろうか。下の水晶からでてくる霊的エネルギーは強い。
挿絵は違った霊からの靈感を受けているのではないか。



神の教え P101

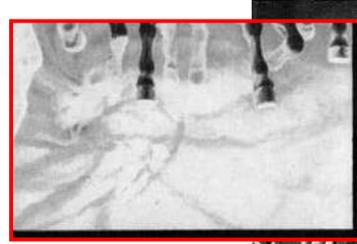
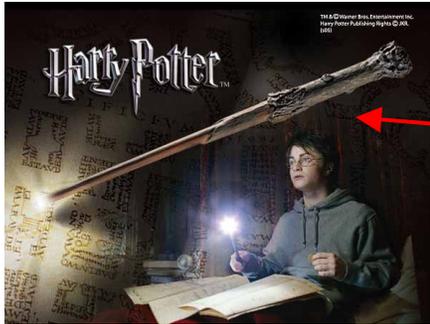


あなたは
さまざまな形の心霊術を
どのように見えていますか

知識 P110

参考までに①

これらの挿絵はハッキリと判別しにくいのと、古い出版物になるので参考程度で見てください。



This symbol represents animals as well as human sacrifices. This symbol can be drawn or painted on rocks, trees or on the animal or victim.

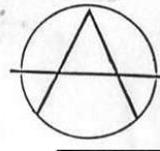


Fig. 47



雲の模様がA(生贄)のシンボルとなっている。

少年の手にあるのは短い魔術の杖。通常の挿絵では羊飼いの杖はもっと長い。



Fig. 8

木の陰の中に骸骨のようなシルエットが。



Fig. 11

ペンダントはメーソンのシンボル。



奇妙な顔が逆さまに...



Fig. 3

参考までに②



Fig. 12

よく見ると不自然な骨組みは
オカルトの三角シンボル。

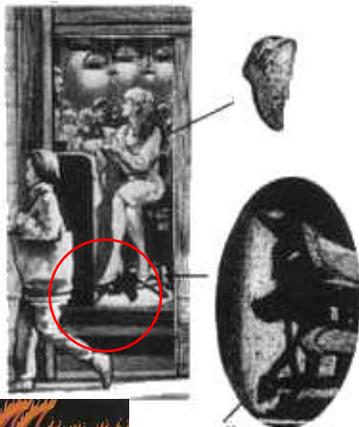
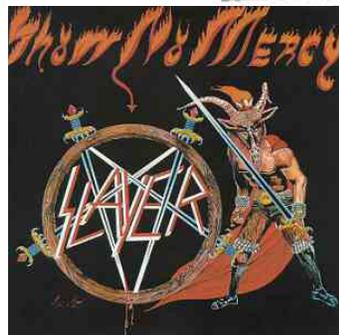


Fig. 13

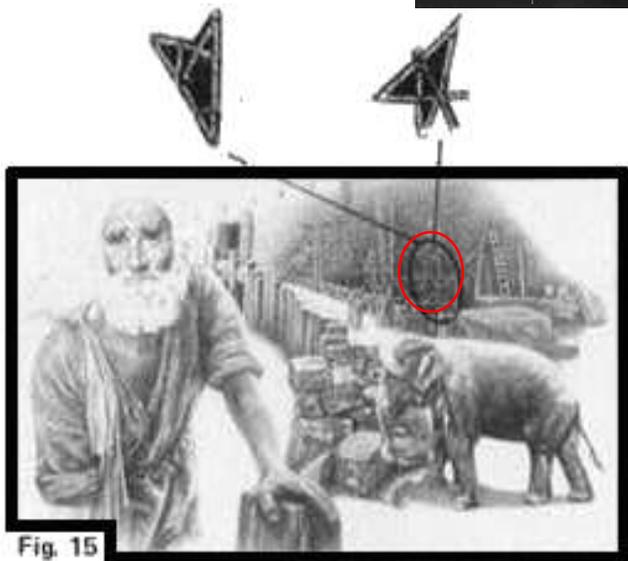
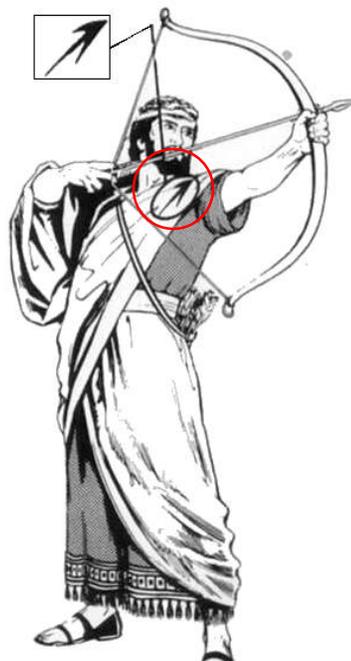


Fig. 15



左の肩にみられる矢のシンボル。
オカルトの儀式に使われる。

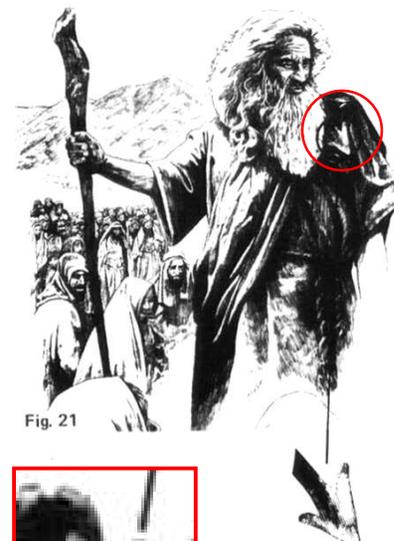


Fig. 21

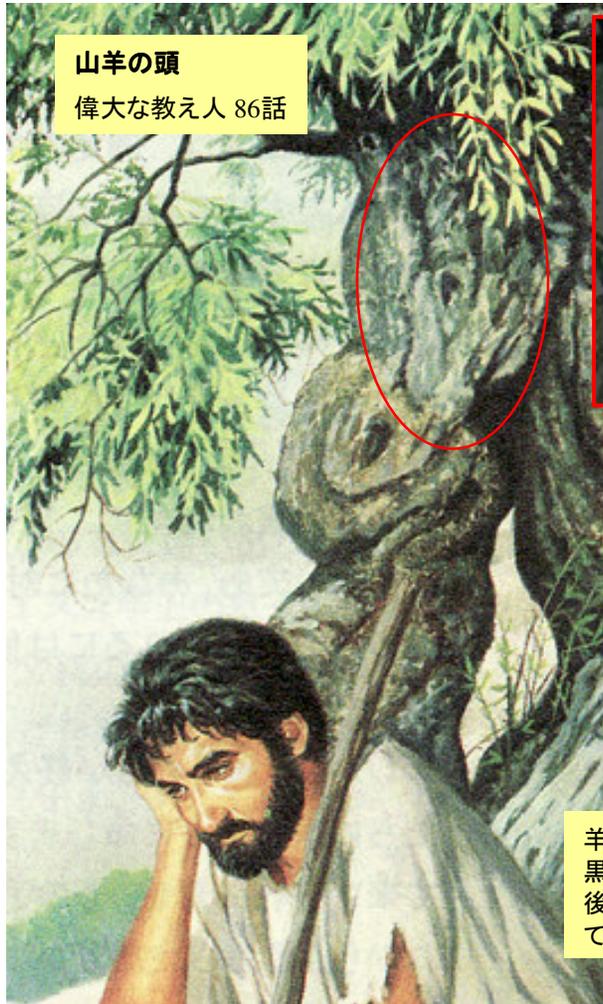


Fig. 23

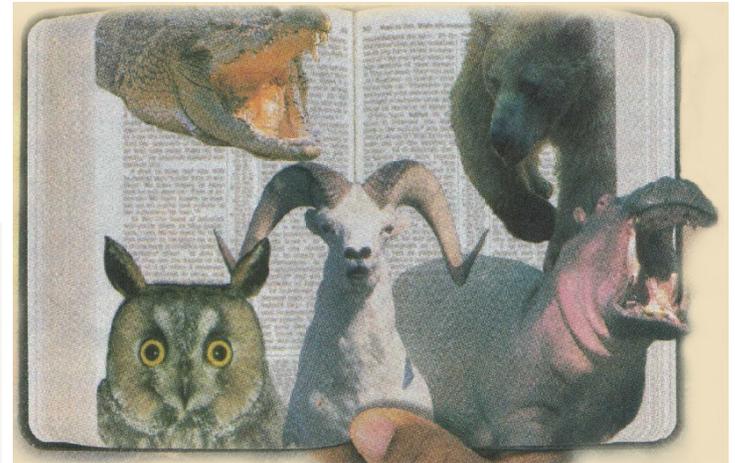
参考までに③ 山羊

山羊の頭

偉大な教え人 86話



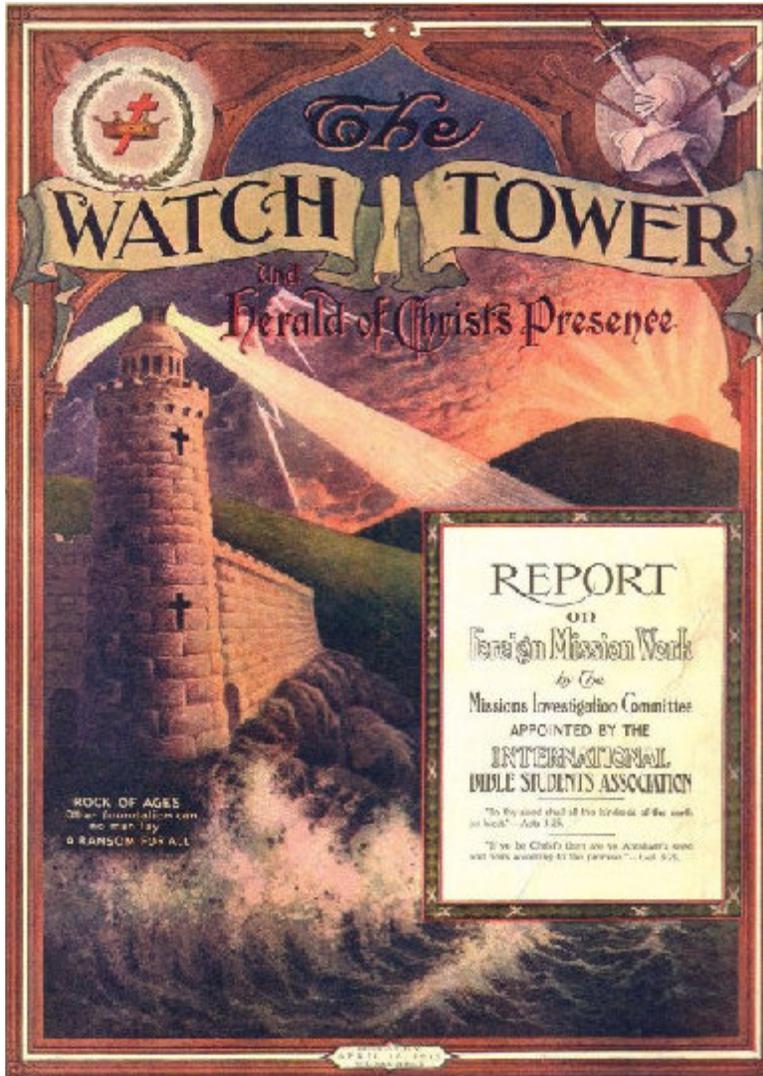
なぜか協会の挿絵は山羊が大好きである。羊の反対にあたり、サタン崇拝に使われるシンボルである。



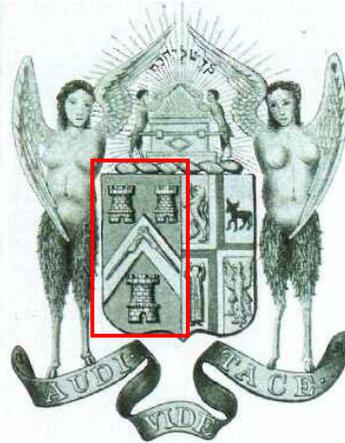
羊の群れをなぜか黒い山羊が率いている。後ろからこっちを見つめている山羊。



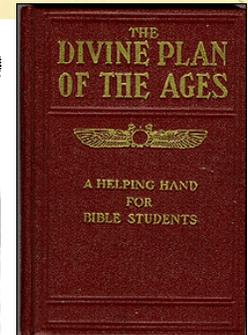
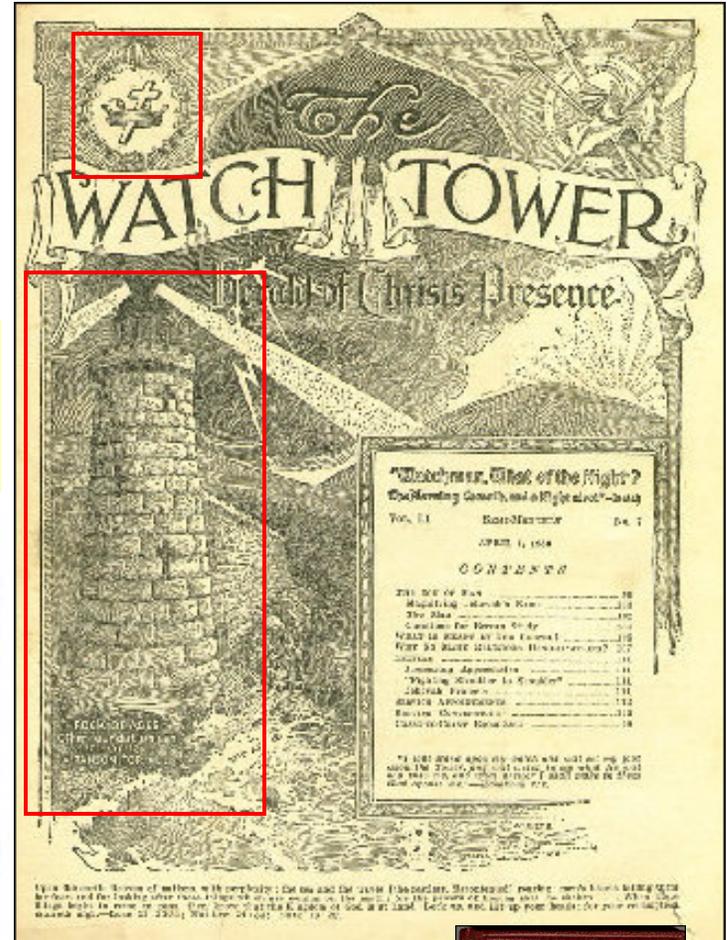
昔からの伝統？



実在する秘密結社
フリーメーソンのバッジ
のシンボルが初期の
ものみの塔と同じ。



フリーメーソンはものみの塔を
シンボルとして使っている。



オカルトシンボルは最近にはじまった事ではなく、初期の頃からありました。ラッセルはピラミッドや「エノクの秘儀」などを信望する神秘主義者でした。もとから「霊」の強い団体で、現在でも「霊」の影響が見られます。証人たちはエホバは正されるといいますが、ずっと清められていないのは明らかです。

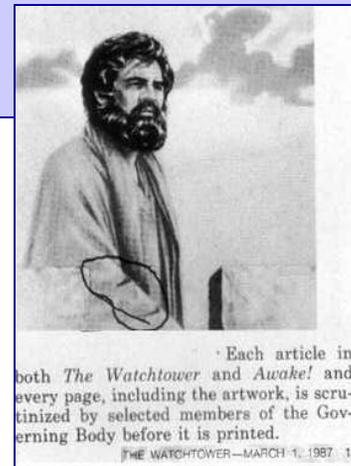
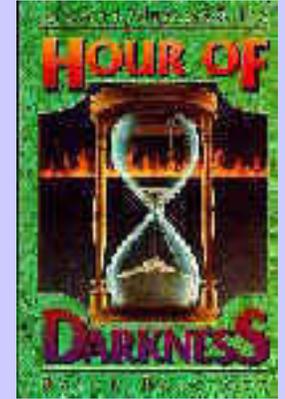
挿絵のシンボルに関する経緯:

挿絵の中にあるオカルト的シンボルを発見したのはアメリカのDarek Barefootという兄弟の本です。ひょんなことから挿絵の中にシンボルを発見して以来、それらを写真に収め記録をまとめました。組織に美術部門に背教者がいるかもしれないという思いで、彼は本部に警告のつもりで資料を送りました。しかし組織からその返答はなく代わりに下記のような記事が掲載されました。

後に組織から彼宛てに返答が来たものの、資料を誰にも見せないようにという通達が来ただけでした。そしてその後、会衆を通じて一方的に審理委員会にかけられてしまい背教者のかどで排斥されてしまいました。そこで彼はものみの塔こそサタンにだまされていると思い本を出版するにいたりしました。この本には当時様々な霊の働きがあった事が記されています。

Hours Of Darkness by Darek Barefoot はアメリカからで入手できます。

<http://www.freeminds.org/sales/books.htm#hourdarkness>



Each article in both *The Watchtower* and *Awake!* and every page, including the artwork, is scrutinized by selected members of the Governing Body before it is printed.
[THE WATCHTOWER—MARCH 1, 1987: 15]

協会は立場上これらのさし絵があることを認めるわけにはいきません。したがって善意であれこのような指摘・問い合わせを行うクリスチャンは協会からの返答の代わりに、直接審理委員会にかけられるリスクが高くなります。

塔84/9/1 P20 『Would You Spread A Rumor』

(日本語の雑誌では別の記事に差し替えられておりありません)

「最近ものみの塔誌のさし絵の中に悪霊の絵が隠されているという噂を広めた仲間が排斥されました。あなたもそのような噂を耳にしたり広めたりしましたか。このような噂は真実でなく偽りでした...」

塔87/3/1 P15 『わたしは物見の塔の上に立っています』

¹⁸ 今に至るまで統治体は同様の指針に従っています。

「ものみの塔」と「目ざめよ！」の両誌に掲載されるすべての記事、それにさし絵などのアートワークを含むすべてのページは、印刷に先立ち、選ばれた統治体の成員による綿密な検査を受けます。

<http://www.hiddenmysteries.org/mind/subliminal/jw/sjw091900a.html>

考察(英語) <http://www.freeminds.org/history/subliminal.htm>

オカルト http://www.witness.talktalk.net/watchman_007.htm

鏡絵 <http://www.artcriticman.homecall.co.uk/artcritic.htm>

Would You Spread a Rumor?



20 THE WATCHTOWER—SEPTEMBER 1, 1984

Even the Watchtower Society's publications have been the subject of rumors—for example, that one of the artists had secretly been introducing pictures of demons into the illustrations, was subsequently found out and disfellowshipped!

Did you share in spreading any such stories? If so, you were—perhaps unwittingly—spreading an untruth, since they were all false. Certainly, the rumor concerning the Society's publications was harmful, as well as slanderous to the zealous Christians who work long hours producing artwork to make the magazines, brochures and books so attractive.

なぜこのようなシンボルがあるのか：

■挿絵のスタイルから判断して一人の背教者の仕業でなく**複数の画家**によるものであることが分かります。例え統治体の指示でなかったにせよ、神の組織の壁はサタンの霊の影響が出版物に入り込む余地を残していたこととなります。エホバの保護はどこにあったのでしょうか。

■これを理解するには現在の霊的視点を根本的に変える必要があります。まず第一に**全ての組織団体には良し悪し関係なく担当する霊がついています**。ものみの塔も例外ではありません。これを神の側のみ使いと呼ぶか悪霊と呼ぶかは人によりますが、全ての土地や組織には霊が関わっています。また個人レベルで見ても人にはそれぞれ霊がついています。今回の挿絵の件はものみの塔を担当している霊が現場で騒動が起きることを見越して**「愉快犯」**として行ったものです。従って**この資料をむやみに他人に見せてはいけません**。なぜならパニックを起こすのがこの絵の目的だからです。この資料はあえてJW解約に必要な確証を得たい方のためのみに用意しました。

■では絵を描いた本人はこれらのシンボルを意図して描いたのでしょうか？実はこれらの**画家ですら無意識にやっている**可能性が高いのです。これを理解するためにまず理解しなくてはならないのは、人は皆、感度の差はあれど「霊の媒体」であるということです。ですので宗教組織の上層部(美術部門など)の人は靈感をより強く受けやすくなっています。したがって本人は気がつかず霊の媒体となってそれらの絵を描いています。よく誰かと話していて「〇〇兄弟ちょうどよかった、兄弟の言葉はエホバからのご意志だわ」という会話をする時があるとおもいます。この時この兄弟は神の霊のもとに動かされたという事を意味しています。すなわち全ての人は神(霊)の媒体となりうるわけです。

■ではものみの塔についている霊は悪霊なのかという議論が起こりますが、結論からいってしまうとJWが信じているような画一的な方法で「良い霊」「悪い霊」を分類することはできません。しかしある人(大半の信者)にとっては良い影響を及ぼしているのは事実です。同時に**ものみの塔の霊は「独占欲」と「抑圧力」が強い**ので、特定の人にとってはこれが大きな縛りとなって破綻をきたします(うつ病もその一つです)。あなたはものみの塔の霊が果たして良いか悪いかいきれますか？多分できないでしょう。唯一いえることは、個人単位でこれらの霊(組織)とどのような付き合い方をすれば良いか考えていく必要があるということです。

**ものみの塔が真の組織であるならば、
エホバは悪霊の影響から出版物を守れないのはなぜでしょうか？**

**もし出版物の挿絵に悪霊の影響が入る余地があるのであれば、
文章に悪霊の影響が入らないという保証はどこにありますか？**

**あなたは出版物に背教的な霊が入り込まないか見張っていますか？
出版物が聖書から反れていないか検証するべきです。**